

<実施事業所 報告>

インターンシップは弊社へ



「受入れ事業所：スーパーマーケット」

弊社は地元山口県に本社がある地元の小売業です。創業は昭和29年ですので、県内でも歴史のあるスーパーマーケットです。

山口県は現在オーバーストア状態です。オーバーストアとは「地域の需要を上回る新しい店舗の出店などで、競争が激化すること」を指します。つまり、そこで暮らされている人達の人口に対して店舗数が全国平均より多いということです。競争がますます激しくなっているということです。地元の企業のみならず、全国展開の大手企業もどんどん出店しています。そんな中で我社は「食」という「ふだんの生活」に必要な商品を中心に販売しております。地域に暮らされている皆様の日常生活に欠かせない「スーパーマーケット」です。

さて、インターンシップ受入の実習内容・目的は1週間程度の短い研修期間ではありますが、「小売業がどのようなことをしているのか」「どんなところに、力を入れているのか」「生鮮部門の衛生管理はどのようになっているのか」「科学を使ってどのように仕事をしているか」など様々な疑問・興味を体験してほしいのです。また、接客業でもありますから、「挨拶訓練・接客訓練」の時間も多く設けています。何故ならば、研修期間中は学生の皆様もお客様にとっては一般の従業員として対応されるからです。インターンシップを通じて「仕事」とは何か、あるいは将来どのような仕事に就いてみたいかを少しでも感じていただければと思います。「仕事」に対する意識づけと云えば大げさですが、このインターンシップを通じて将来の就職活動のお役に立てればと思います。実習期間中はどんどん質問してみてください。他の企業様も同じですが、時代の変化と共に企業は進化しなければ取り残されます。そうならない為に、どのような事をしているか企業の取組みを見てほしいのです。

我々の小売業は、商品を発注し、納品し、生鮮部門などでは商品を製造・加工し、そして売場に陳列する仕事です。毎日、同じ売場に思われるかも知れませんが、実は、スーパーマーケットはお客様を飽きさせない為に日々いろいろな工夫をして仕事をしています。流通業ともいわれますが、「商いはあきない」とよく言われます。その「おもしろさ」は、インターンシップで実際体験頂ければ、すぐに実感頂けると思います。特に、「人と接することの好きな人」「生鮮部門で商品の加工・製造や販売をしたい人」「出身地の山口県を中心に就職を考えている人」など積極的に御参加下さい。

最後になりましたが、山口県インターンシップ推進協議会の皆様、特にコーディネーターご担当の皆様、今後とも宜しくお願いたします。